

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 26 日	
富山県知事	
新 田 八 朗 殿	
提出者	
住 所 富山県砺波市東保1202-1	
氏 名 北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社 砺波工場	
取締役 砺波工場長 斉藤 新一	
電話番号 0763-37-8100	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社 砺波工場
事業場の所在地	富山県砺波市東保1202-1
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業
② 事業の規模	売上高 205億円（前年度実績）
③ 従業員数	133人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div><ul style="list-style-type: none">・廃プラスチック→粉砕→再生利用・廃ガラス→粉砕→再生利用・廃ガラス→埋立・金属屑→溶解→再生利用・植物性残渣→堆肥、発酵ガス回収、燃料助剤他再生利用</div><div><ul style="list-style-type: none">・汚泥→脱水→再生利用・木屑→焼却→埋立・ゴム屑→焼却→埋立・紙屑→焼却→埋立</div></div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
<div>(管理体制図)</div> <div><div>・産業廃棄物処理責任者</div><div>・特別管理産業廃棄物管理責任者</div><div>・教育・研修</div></div>		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	<div>(これまでに実施した取組)</div> <div><div>・製造工程で発生する規格外製品（中間製品を含む）の削減</div><div>・包材のデザイン変更等により生ずる端数廃棄品（旧資材）の低減</div><div>・分別回収の推進</div><div>・製造工程で廃棄する製品液残液削減による排水処理負荷の低減</div><div>・機器の洗浄液使用量削減による排水処理負荷の低減</div><div>・廃棄物の分別による有価物への転用</div></div>		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	排出量	t	t
	<div>(今後実施する予定の取組)</div> <div><div>・上記現状取組みの継続</div><div>・産業廃棄物のリサイクル率向上</div></div>		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	<div>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</div> <div><div>・金属屑を「ステンレス屑」「鉄」「混合・その他」に分別</div><div>・廃ガラスを「ガラス屑」「がれき」に分別</div><div>・銅線の分別処理</div><div>・王冠の分別処理</div></div>
②計画	<div>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</div> <div><div>・上記現状取組みの継続</div><div>・廃棄物分別精度の向上</div></div>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・中間製品の破損低減 ・設備洗浄薬剤使用量の見直し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組みの継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・自社の委託基準に従って産業廃棄物処理を委託する業者の選定 ・定期的に産業廃棄物処理委託先の現地視察を実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 現状取組みの継続		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

